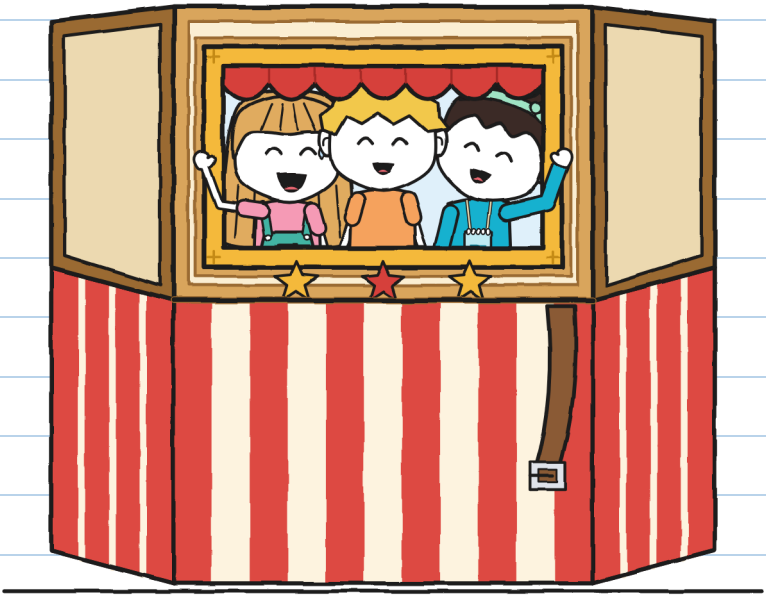
ありえない はいたつ・6

ばしょは さんにんぶん

LinguAula



（グニの ノート）

サイズM
中級・9+

ありえない はいたつ・6
ばしょは さんにんぶん

文と絵：LinguAula

サイズ M・中級・9+

日本語版：LinguAula

しょはん：2026

© 2026 LinguAula · info@linguaula.com

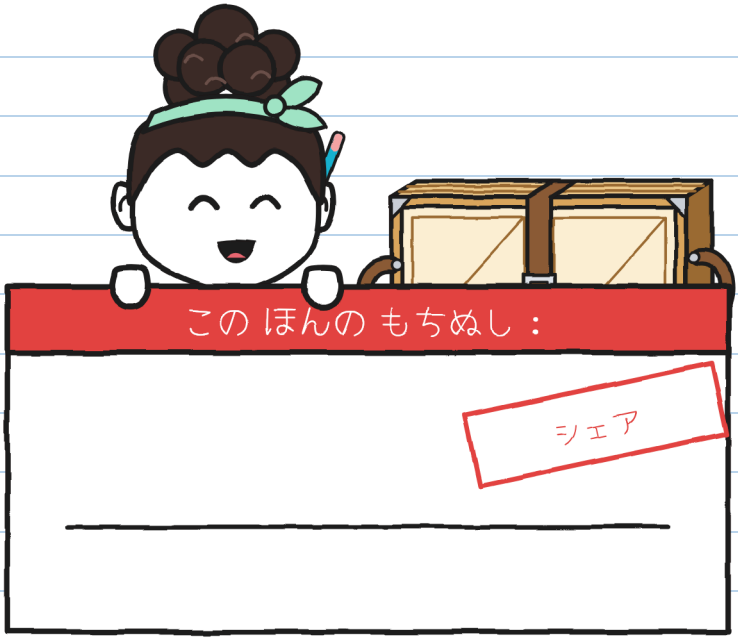
自由にコピーして、学校でも家でも使えます。

シリーズの6さつめ。これまでの本は「このにもつはかみつく」「かみなりまえにあけるな」「へんそう、おねがいします」「ここじゃダメ、パンくず！」「ふたりでひとつのケーキ」。

LinguAula

linguaula.comでしょうごとにれんしゅう

これは3人(ひと)ではこぶ。わたしはもうとってをえらんだ。 —J.



シェア。みんな はいる。 —J.

見(み)つけたら、たたんで返(かえ)してね。

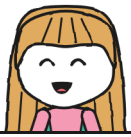
おはなしの なかだけ

このはんこは、お話(はなし)の中(なか)だけで起(お)きることのしるし。ほんとうのドラゴンはいない。荷物(にもつ)はとんでもどってこない。ほんとうにはこぶときは、76ページを見(み)てね。 —J.

だれが だれ？



グニ。センチで はかる。こんしゅうは、ほかの ことも かぞえる。



フリータ。みちは しっている。せつめいは、べつの はなし。



ノア。フリータの むかしからの ともだち。ほで はかる。ほは いつも みに つけて いる。



イレーネさん。げきの こうぼうを している。どっちへ、とは いわない。「とまれ」と いう。



トニョ。イナズマでんと、みせの ひと。じかんを はかるだけで、いけんは いわない。ほとんど ね。



マラさん。にもつは かす。はこは はなさない。



6ばん。はこに はいる ぶたい。ベルトを だれも おさえないと、すきな ところで ひらく。



R.は さしだしひと。こんかいは、びひんリストに 1ぎょう のこした。

グニの
はいたつノート6

シェア。



ノート5は、時計の文字ばんに2本のはりがあるところで終わった。これはみかんみたいなオレンジ色で、店のはんこもついている。

1ページ目に、ことばを一つだけ書いた。ページの半分は、念のためあけておいた。あいていたのは、1分もなかった。

1ページ目は、わたしの字でシェアした。 —J.

第1章

どうして3にん ひつようなの？

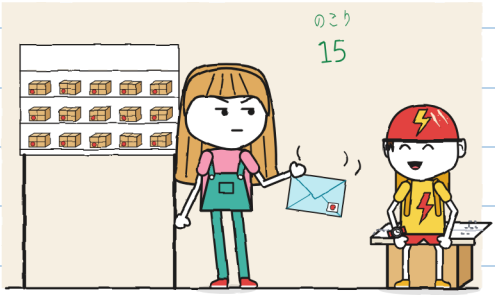
月曜日、学校から帰ると、フリータがカウンターでふうとうを持ってまっていた。みどりでも青でもない。ターコイズ色で、まだとじたままだった。

「ゆうびんやさんがもってきたの。『ありえないはいたつ』あて。しばらくあけてない」

「どのくらい？」

「28分だぜ」と、トニョがとけいを見ながら言った。

「このまちのきろくだ」

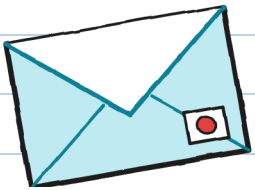


わたしのじゃなかった。ひとのふうとうは3ばいおもい。 —J.

マラさんはつめであけた。

イレーネです。ちいきセンターの げきの こうぼうの たんとうです。
びひんリストを こうしんして いて、1ぎょう みつけました：
「おりたたみの ミニぶたい：うけとりまち」
そちらに ありますか？
31にちの どようびは、まちの ラリーです。
ミニぶたいが たたんだ まま うちの なかにわに とどいたら、
3にんの チームが はこんで きたら、その ばで サインします。
ノアの チームには さんにんぶんの ばしょが あり、いまは ノアだけです。

フリータ、わたしだよ！いま、げきを やって いるの。
にもつに くわしい だれかを つれて きてね。ーノア

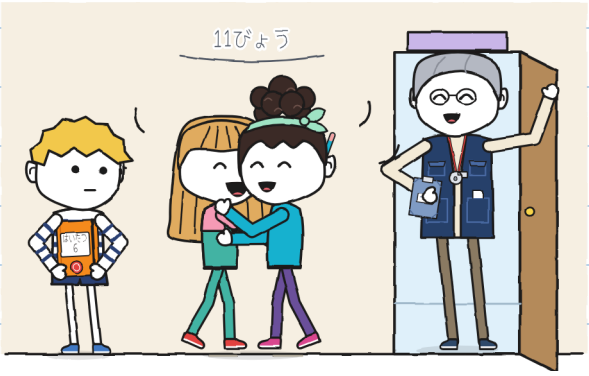


「にもつにくわしいだれか」。それはぼくだ。「にもつ」のほうは気に入った。「だれか」のほうは、あまり。

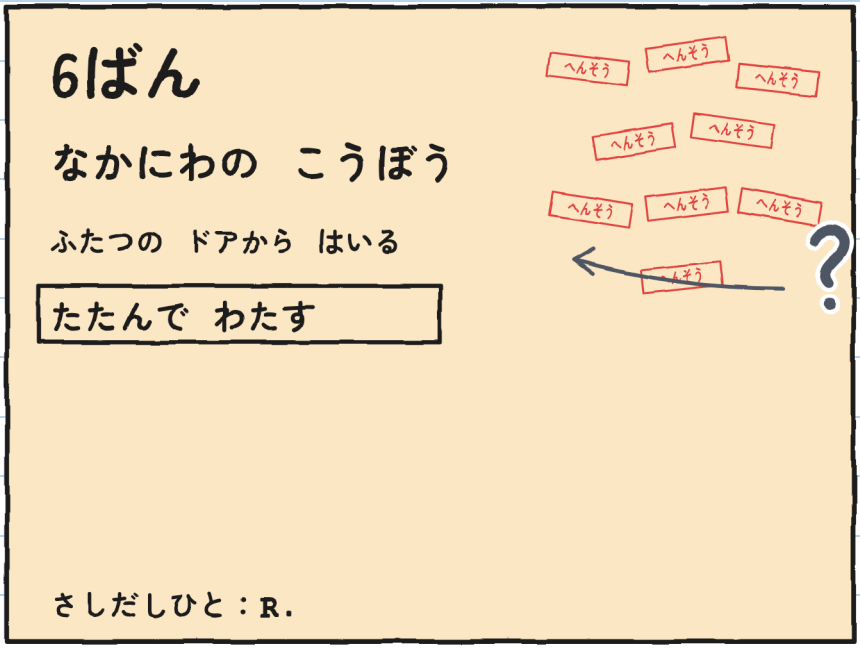
5時に、イレーネさんとノアが来た。イレーネさんはファイルをかかえ、ポケットだらけのベストを着て、首からホイッスルをさげていた。ノアはひもでメモちょうをぶらさげ、耳のうしろにターコイズ色のえんぴつをさしていた。

フリータとノアは、はかれるほど長くだきあった。11秒。ぼくはすみでノートを持っていた。ノートには、こういう役目もある。手に持つものをくれることだ。

「この子がグニ」とフリータが言った。「荷物にくわしいの」
「はじめまして、荷物にくわしいグニ」とノアは言って、ぼくの名前をメモちょうに書いた。



マラさんは青いいすにのぼって、たなから6番をおろした。ほかと同じ箱。



「はんこは9こ」とフリータが言った。
「『ふたつのドア』」とノアが読んだ。「ふたつのドアって？」

イレーネさんは知らなかった。マラさんも。ぼくははてなマークをつけてメモした。

「9回持っていったわ」とマラさんは言った。「月曜日はさいほうのグループがドアを開けた。水曜日はコーラス。金曜日はチェス。『こうぼう？ここじゃないよ』って。こうぼうあてのサインは、だれもしてくれなかったの」

「げきは中庭でれんしゅうしています」とイレーネさんは言った。「それに、中庭にはベルがありません」

イレーネさんはファイルを開いて、マラさんにセンターのはんこがついた紙を見せた。

「今、こうぼうは登録ずみです：『げきのこうぼう。たんとう：イレーネ』。こうぼうあてでも、もうサインする人がいます」

マラさんの 9この こころみ



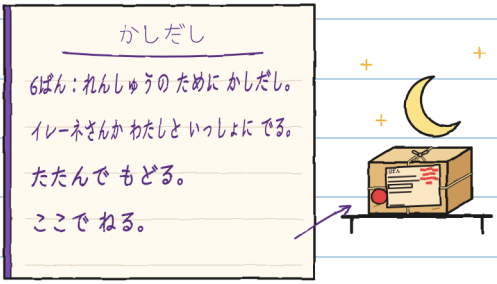
「サインする人がいるなら、どうしてマラさんが箱に入れて、エリアさんの台みたいに運ばないの？」とフリータが聞いた。

「箱に入れて、もう9回運んだわ」とマラさんは言った。

「これからは、受け取る人がじょうけんを決めるの」

「おりたたみのミニぶたいは、広場へ持っていくものです」とイレーネさんは言った。「子どもたちが町の道を運べるか、たしかめます。運べないなら役に立たず、役に立たないものにはサインしません」

「それ、もうパンやさんで聞いたわ」とマラさんは言った。そして登録のノートに自分のじょうけんを書いた。ラベルは箱につけたまま、箱はマラさんのところ。

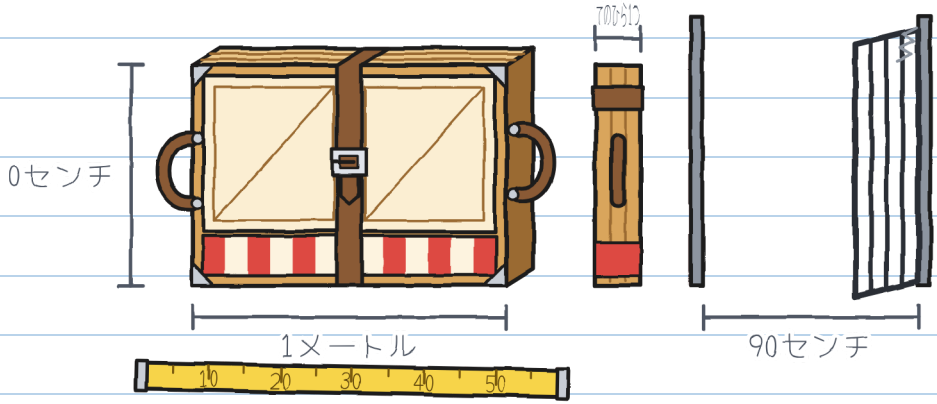


たなでねていれば、夜明けにもどる場所がない。はんこは9つのまま。聞いてみた。 —J.

火曜日に、ちいきセンターの中庭へ行った。道から鉄の門を通って入る。その門はひとりでにしまる。

マラさんは箱をゆかにおいて、ふたをとった。箱から出ると、ミニぶたいはエリアさんの台みたいに大きくなった。ぼくはもうおどろかない。まきじゃくを出す。

6ばんの おおきさ

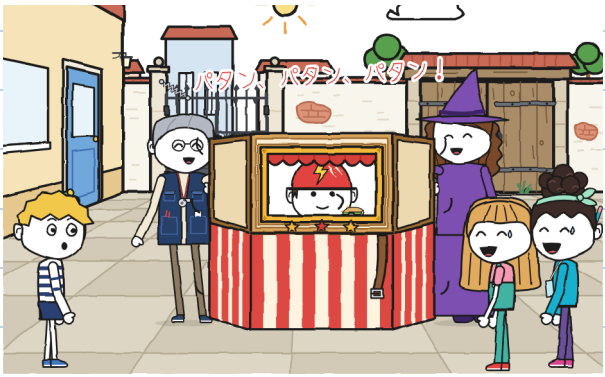


横に立てれば、門を通れた。それはかんたんなほうだった。

まずなによりも、イレーネさんはぜんぶそろっているかたしかめたがった。ベルトをはずして、たたんだつつみを回した。パネルは重みでひとりでに開いた：パタン、パタン、パタン。3つのかべと、短いまくと、おくのパネルにまどわくがあるぶたいだった。

ミニぶたいのまどから、サンドイッチを持って通るトニョが見えた。口がいっぱいで、あいさつできなかった。

「ぜんぶそろっていますね」とイレーネさんは言った。「こうぼうのきまりです。手はとって。ちょうつがいにはぜったいにダメ。そして曲がるときは、だれかがベルトをおさえます」



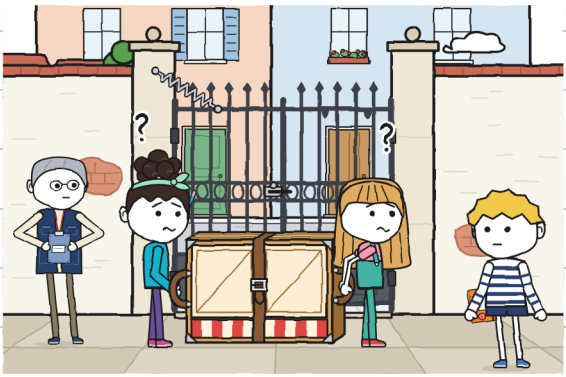
イレーネさんとマラさんはミニぶたいをたたんで、ベルトをとめた。

「わたしたちで試してみる」とフリータが言った。ノアはもう、もう一つのとってに手をかけていた。

3まで数えて、持ちあげた。持てた。中庭を1周した。門のところに着いた。門はしまっていた。

フリータは門を見た。ノアも。手はぜんぶで4つ、4つともふさがっていた。

ぼくは2メートルはなれたところで、自分の両手があいていて、ノートを持っていた。



ぼくはせなかで門をおさえた。ふたりは通った。イレーネさんはファイルになにか書いた。

その日の午後、ぼくはこのノートのそうちを発明した。

3にんメーター

くかんごとに、だれが なにを する

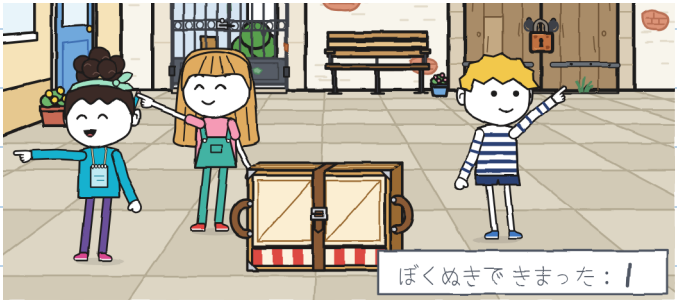
	もつ 	あんない 	みちあけ 
なかにわ、1かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	
なかにわ、2かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	グニ

同じ名前が2つと、からのマスが1つ：通れない。マスがうまっていれば、通れる。

もう一つ、小さいこともメモした：「門は、石でもおさえられる」

まだラベルの意味がわからなかった。
「『ふたつのドア』って、門の2まいのとびらのことだよ」とフリータが言った。
「どっちも開けなきゃ」とノアが言った。
「先にへいの外側をはかれるよ」とぼくは言った。
3人でさした：フリータは門、ノアは部屋、ぼくは道。
「あとで」とふたりは言った。

ぼくはひとりで行って、へいをぐるっと回って、なにかを見つけた。もどると、ふたりはぼくが来る前の町のできごとで笑っていた。ぼくは口を開けた。
「もう決まったよ、グニ」とフリータが言った。「2まいのとびらだよ」
ぼくは口をとじた。ノートもとじた。



そのぼうせんは、2日あとに見た。わたしの。 —J.

ひとつの おはなし、6つの サイズ

サイズは6つ、3さいから16さいまで、ことばは20いじょう。
XXS、**XS**、**S**、**M**、**L**はページもえもおなじ。**XL**はしょうせつ。
かわるのはかたりかただけ。

サイズ XXS · PRE-A1
グニは ひとつ ことばを かいて、ばしょを あけた。「シェア」って ことば、みえる？

サイズ XS · A1
ぼくは ことばを ひとつだけ かいた。ページの はんぶんは あけて おいた。1ぷんも あいて いなかった。

サイズ S · A2
1ページ目に、ことばを ひとつ 書いた。ページの はんぶんは、ねんのため あけて おいた。1分も あいて いなかった。

サイズ M · B1
1ページ目に、ことばを一つだけ書いた。ページの半分は、念のためあけておいた。あいていたのは、1分もなかった。

サイズ L · B2
1ページ目に、ことばを一つだけ書いて、ページの半分は念のためあけておいた。あいていたのは、1分もなかった。

サイズ XL · B2-C1
イラスト小説 · 13+
CEFRのレベルは目安です。

それぞれのサイズで。おなじミニぶたい。 —J.

かぞくと せんせいへ
linguaula.comでしょうごとにれんしゅう